

中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通 信

発行：大塚まさとし後援会 中津市新大塚町 384 TEL・Fax 0979-22-6972
携帯 090-2508-7959 E-mail masatoshi@m-ohsuka.com
URL（ホームページ） <http://www.m-ohsuka.com/>



新たな年を迎え、「蛇の足より人の足見よ※」を肝に銘じて頑張ります。

※役に立たないことを考えたり論じたりするよりも、身近なことについて考えるほうが大切だということ。

皆様には、輝かしい新年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

未曾有の大震災からもうすぐ 2 年、九州北部豪雨災害から半年が経過します。災害の爪痕は深く、いまだ被災地では多くの方々が復興への道を歩んでいます。被災者にとって、最もつらいことは、震災から年月を経るにつれ、被災地の苦しみが忘れられてしまうということです。

一昨年の大震災や豪雨災害は、ボランティアをさせていただいた私自身の自我を含め、私たち日本人に「つながり」「絆」「思いやり」の大切さを、あらためて気づかせてくれました。そのことこそが、私たちの財産だと思います。

長引く経済不況や雇用不安、震災・災害復興、原発の問題など、まだまだ乗り越えなければならない課題は山積していますが、これからも私たち日本人の絆を大切に、一步一步、力強く再生の道を進んで行きましょう。

私も、初心を忘れず皆様方の期待と信頼に応えられるよう、全力で取り組んで参ります。

大塚 正 俊



気仙沼市に建設中のガレキ処理工場

12 月定例議会は、11 月 21 日から 12 月 20 日の 30 日間開催され、一般会計補正予算等の補正予算 9 件、条例議案 7 件、その他議案 7 件、計 23 件を原案どおり可決しました。また、私たちの会派から提案した意見書 3 件、決議 1 件を採択しました。

■12 月定例議会で決まったこと。【抜粋】

1. 一般会計補正予算（2 億 4513 万円） ※補正後の予算総額（445 億 3733 万円）

- ・ NHK 大河ドラマ「軍師官兵衛」推進協議会への補助金（50 万円）
- ・ 地域活動支援事業（深耶馬の橋架け替え）補助金（2970 万円）
- ・ 南部まちなみ交流館整備事業（2915 万円）
- ・ 農地等災害復旧工事補助金（2 億 337 万円）
※補助率を 70%から 90%に引上げ
- ・ 道の駅の JA 直売所整備補助金（400 万円）
- ・ 有害鳥獣侵入防護柵の復旧事業補助金（233 万円）
- ・ 沖代小、緑ヶ丘中学校の耐震補強工事の実施設計委託（1025 万円）
- ・ 南部・小楠・如水幼稚園の耐震診断委託（398 万円）
- ・ 4 種混合ワクチン導入にかかる経費（1503 万円）
- ・ 衆議院議員総選挙に伴う経費（4413 万円）



南部まちなみ交流館イメージ図

2. 条例議案

□子育て支援基金条例

- ・児童福祉指定寄附金（1000 万円）を子育て支援事業の財源に充てるため基金を設置。

□農地等災害復旧事業分担金徴収条例の一部改正

- ・旧中津市も災害復旧分担金を徴収する区域に含め、個人負担金を補助残額の 1 / 2 以下に軽減。

□中津市豊寿園移譲先事業者選定委員会設置条例

- ・養護老人ホームの民間移譲を想定し、移譲先の選定を行う委員会の設置。



養護老人ホーム豊寿園

3. 工事請負契約の締結

- ・市営永山住宅（中津東高校北側）建築工事の請負契約の締結（2 億 9715 万円）



永山住宅の整備イメージ図

4. 訴えの提起

- ・市営住宅の家賃滞納者に対して、滞納家賃の支払いを求めて裁判所に訴える。（1 名）

5. 意見書（国、県へ提出）

□九州北部豪雨災害により被災した中小企業者に対する支援の拡充を求める意見書

- ①製造業、商業、旅館業等の事業再開に向け、直接支援として国の中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業の九州北部地域への適用や拡充を行うこと。
- ②新たな大分県独自の支援制度を創出すること。

□災害復旧事業費等の一括交付金化等を求める意見書

- ①事務手続き及び災害査定の簡略化、被災状況に応じた対象条件の緩和のため、各省庁分を一括して交付する制度を創出すること。
- ②交付金の使途についても、地方自治体がそれぞれの実情に応じて柔軟に対応できるようにすること。
- ③既存の法令等に定める災害復旧事業の各種申請書等の簡素化、写真等による災害査定の簡略化、補助事業期間（3 年間）の延長等を行うこと。
- ④災害復旧対策に対し、国庫補助に測量設計費等を対象に加え、補助率を引き上げるなど柔軟に対応し、早期復旧に向けて強力な支援を行うこと。



□自動車関係諸税の抜本的見直しを求める意見書

- ①車体課税については、自動車ユーザーの負担軽減、簡素化となる抜本的見直しを実施すること。（自動車取得税の廃止、自動車重量税の廃止、自動車税、軽自動車税の抜本的改革）
- ②車体課税の抜本的見直し後も環境対応車普及促進インセンティブ（販売奨励策）を実施すること。
- ③燃料課税の「当分の間として措置される税率」を廃止し、二重課税を解消した上で、簡素化・負担の軽減を図ること。

6. 議会決議（中津市へ提出）

□九州北部豪雨災害により被災した中小企業者に対する支援の拡充を求める決議

①今後の義援金の配分については、中小企業等の非住家への配分を行うこと。

12 月定例市議会の議案質疑の概要

■私は、議案質疑で以下の項目について執行部の考えを質しました。（一部抜粋）

＜質問＞沖代小学校 1 棟の耐震補強工事の完成時期と耐震補強工事に併せてトイレ、床、非構造部材の天井等の改修等を実施すべきではないか。

【執行部答弁】

工事スケジュールは、平成24年度実施設計、平成25年度耐震補強工事の予定です。

沖代小学校の実施設計の範囲は、耐震補強は鉄骨ブレス2ヶ所、耐震壁4ヶ所、耐震スリット2ヶ所の設置を予定しております。また、老朽化が認められるトイレ、外壁、屋上防水、天井及び床等の内装、防火扉等の設備類を改修する設計となっています。



沖代小学校校舎

＜質問＞緑ヶ丘中学校特別教室 2 棟の耐震補強工事の完成時期と耐震補強工事に併せてトイレ、床、非構造部材の天井等の改修等を実施すべきではないか。

【執行部答弁】

工事スケジュールは、平成 24 年度実施設計、平成 25 年度耐震補強工事の予定です。

緑ヶ丘中学校特別教室の設計の範囲は、耐震補強は鉄骨ブレス 6 ヶ所、耐震スリット 5 ヶ所の設置を予定しています。また、老朽化が認められる外壁、屋上防水、天井及び床等の内装、防火扉等の設備類を改修する設計となっています。なお、耐震補強工事を行う2棟の校舎は特別教室棟で、普通教室棟のトイレを使用していますので、トイレ改修はありません。

＜質問＞農地等災害復旧事業分担金条例の一部改正について、「災害復旧事業に要する額から国及び県からの補助金の額を控除した額の 2 分の 1」とした根拠は。

【執行部答弁】

2分の1の根拠は、地方自治法第224条の受益者負担の原則に基づき、受益者負担の少ない他市の制度も参考にし、補助残額を市と地元の相互で負担するという考え方によるものです。

＜質問＞現行の負担割合 10%や県営土地改良事業分担金等徴収条例の農道、水路整備の分担金 5%よりも負担金が高くなることがあるのでは。また、「特別の理由があると認めるとき」とはどんなケースを想定しているのか。

【執行部答弁】

国の補助率によっては、負担率が 10%を超える場合が考えられますので、農地は 10%、農業用施設は 5%を超えない範囲で別に定めたいと考えています。

また、「特別の理由があると認めるとき」とは、農道や水路等の農業用施設関係において、「不特定多数の方が利用し公共性の高い農道、地域の洪水調整機能の賦与・増進のための用排水路やため池等で公益上、必要な災害復旧事業」を想定しています。



12 月定例市議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考えを質しました。（一部抜粋）

1. 持続可能な財政運営に向けて

（１）普通交付税の一本算定への対応

〔経過〕中津市では、平成 27 年度より市町村合併の特例措置として行われている普通交付税の「優遇措置が徐々に縮減され、平成 32 年度には全く優遇措置のない一本算定となります。平成 24 年度の普通交付税（116 億 2138 万円）をもとに試算すると、一般算定では 91 億 7526 万円となり、約 24 億 4612 万円が減額されます。

市は平成 32 年度を睨んで、合併後の平成 18 年 1 月から行財政改革緊急 2 カ年計画、第 1 期・2 期行財政改革 5 カ年計画を策定し、職員採用の抑制、職員の賃金カット、建設事業・各種補助金の縮減、市税等収納率向上等を実施してきました。

＜質問＞中津市は現段階で、平成 32 年度に普通交付税が約 24 億円も削減されるような一本算定に対応できる行財政構造となっているか。

【答弁】総務省は、合併算定替の期限終了に向け、交付税制度全般を見直す方針であるようですが、現時点において見込まれる一本算定に対応できるようにするためにも、第 2 期行財政改革 5 カ年計画に掲げられた諸施策を着実に推進していくことが必要であると考えています。

2. 店舗、飲食店、作業所等の中小企業等の災害復旧に向けた支援策の拡充

（１）中小企業等への義援金の配分について

〔経過〕昨年 7 月の豪雨災害による中津市内の商工労働関係被害は 106 か所、総額 3 億 9300 万円にも達し、床上浸水以上の被害は店舗・事務所 49 戸、工場・作業場 16 戸となっています。今、被災地域では、地域の経済や観光、雇用、生活を支えてきた被災中小企業に対する復旧支援が求められています。

一方、10 月時点で中津市にお寄せいただいた義援金は約 4200 万円で、大分県からの約 5600 万円を合わせて約 9800 万円を人的被害・住家被害（個人住宅のみ）に義援金として配分しています。



＜質問＞今、中小企業には、被災者生活再建支援金や義援金ありません。今後、日田市、竹田市のように義援金を中小企業等の非住家へ配分する考え方は。

【答弁】今後、日田市などの状況を踏まえて、義援金配分委員会の中で検討します。

（２）新たな中小企業支援補助金制度の創出

〔経過〕東日本大震災で被災した宮城県栗原市では、国・県の補助対象とならない商店・飲食店・製造業等の小規模企業者の再建に向けた施設・整備の復旧費に対して、補助率 1/3、補助上限 100 万円の補助制度を市単独費で創出しました。

＜質問＞そこで、地域振興や観光浮揚につながる店舗、旅館、飲食店、事業所を再開、継続する者を対象として、地域振興基金（合併基金 28 億 5 千万円）の一部を原資に、今回の豪雨災害に限定した施設・設備の復旧費の一部を補助する市独自制度の創出の考え方は、

【答弁】営業活動を再開するための支援につきましては現在、国・県においても制度がないため、市独自で新たな制度を創出することは考えていません。

しかし、昨年 10 月の九州地方知事会において、国に対して生業に必要な店舗建物等も支援対象とするよう、被災者生活再建支援法の改正を求めており、国・県の動向を今後も注視していきたいと考えています。

3. 平成 26 年 NHK 大河ドラマ「軍師官兵衛」を活かした地域活性化

〔経過〕昨年 10 月、戦国時代に活躍し、名軍師として知られる中津市ゆかりの武将・黒田官兵衛の生涯を描く「軍師官兵衛」が平成 26 年放送の NHK 大河ドラマに決まりました。

大河ドラマがもたらす経済波及効果は、2010 年の「龍馬伝」で高知県内に約 234 億円、2011 年の「江～姫たちの戦国～」で滋賀県内に約 162 億円、2012 年の「平清盛」で広島県内に約 202 億円、2013 年の「八重の桜」で福島県内に約 111 億円になると、日銀などが試算しています。

中津市にどの程度の経済波及効果がもたらされるかは、今後一年間の取り組み如何にかかっていると言っても過言ではありません。



＜質問＞そこで、大河ドラマによる地域活性化に向けて、組織機構の見直しや推進体制の強化をどのようにしていくのか。

【答弁】今年度については、専任の部署の設置等の体制強化を検討するとともに、臨時職員の配置を行う予定です。4 月以降の組織体制については、放送開始前が重要な時期でもあるとの認識から、さらなる体制強化に向けて、現在検討を行っています。

【取り組みの成果】

市は、1 月 1 日付人事異動で、軍師官兵衛推進室を設置し、室長以下、総務課より応援 1 名、臨時職員 2 名の 4 名体制でスタートしました。来年 4 月には更に増員する予定となっています。

＜質問＞大河ドラマがもたらす経済波及効果は、少なく見積もっても全体で 100 億円以上と推測されます。その内 10% を中津市に呼び込む取組みを行うとして約 10 億円の経済波及効果が期待されます。そこで、国の観光地域ブランド確立支援事業や都市再生整備事業、県の地域活性化総合補助金等の補助金制度を活用して、平成 25 年度予算に 1 億円程度の予算計上を行うぐらいの意気込みが必要と考えるが如何か。

【答弁】観光面など本市の活性化に寄与することが期待されるところであり、限られた財源の中でも優先的に必要経費の確保に努めていきたいと考えています。

その際、各種補助制度を活用するとともに、中心市街地活性化の都市再生整備計画事業の中で、必要なものは前倒しで実施するなど、強い意気込みで取り組んでいきます。

市だけでなく市民全員でこの機運を盛り上げ、この大河ドラマ放映を活かしていきたいと考えています。

■活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月 日	曜日	活 動 内 容
10月1日	(月)	会派研修会(平成23年度決算関係)
10月3日	(水)	決算特別委員会(総務消防委員会)
10月4日	(木)	まちづくり専門家との協議、地域サロンの立ち上げに向けた会議
10月5日	(金)	決算特別委員会(文教経済委員会)、なかつ耶馬溪活き域きネット例会
10月6日	(土)	中津南高“同窓のつどい、北扇ドリームの練習
10月7日	(日)	元気だ耶馬溪復興チャリティーコンサート
10月9日	(火)	議会運営委員会、決算特別委員会(施設委員会)、中津まちなみ会例会
10月10日	(水)	決算特別委員会(厚生委員会)、県政・市政報告会(山国地区)
10月11日	(木)	中心市街地活性化研究会、県政・市政報告会(耶馬溪地区)
10月12日	(金)	まちなみ歴史探検(三保小6年生)
10月13日	(土)	耶馬溪にっぽん酒をつくる会稲刈り
10月14日	(日)	福澤語録を巡るオリエンテーション、新大塚町秋祭り(蛸瀬神楽奉納)
10月15日	(月)	県政・市政報告会(本耶馬溪地区)
10月16日	(火)	県政・市政報告会(新博多町交流センター)、6次産業推進研究会
10月19日	(金)	ご当地弁当研究会
10月20日	(土)	第14回いずみの園フェスタ、耶馬溪にっぽん酒をつくる会稲こぎ
10月21日	(日)	豊後街道“楽市まつり”、地区防犯パトロール
10月23日	(火)	会派視察(25日まで)南相馬市、仙台市、気仙沼市他
10月26日	(金)	本耶馬溪町青地区の堤防等の整備事業説明会
10月27日	(土)	歴史と浪漫を探訪する会in三光
10月28日	(日)	北部公民館まつり、オリンピックデーランin中津
10月29日	(月)	議会運営委員会、議員定数調査研究プロジェクト会議
10月30日	(火)	学びの里づくり研究会、なかつ耶馬溪活き域きネット理事会
11月6日	(火)	企業誘致及び地域活性化調査研究会
11月7日	(水)	県政・市政報告会(如水公民館)
11月10日	(土)	秋の火災予防運動パトロール
11月11日	(日)	九州のムラ市場視察(福岡マリノアシティー)
11月15日	(木)	県政平成25年度当初予算要求部局交渉(16日まで)
11月16日	(金)	議会運営委員会、会長会、市役所退職者会親睦旅行(17日まで)
11月18日	(日)	連合大分北部地域協議会設立総会、地区防犯パトロール
11月19日	(月)	中心市街地活性化研究会、中津市職員労働組合定期大会
11月20日	(火)	地域ふれあいサロン視察
11月21日	(水)	12月議会開会、2012年度社民党中津支部大会
11月22日	(木)	12月補正予算の現地調査、ご当地弁当研究会
11月24日	(土)	歴史的建築物(諸町集会所)構造調査、平成会親睦旅行(25日まで)
11月26日	(月)	12月議会に向けた県政・市政対策会議
11月27日	(火)	学校安全(防災)研修会in城北中、諸町景観まちづくり協議会研修会
11月28日	(水)	第32回人権を守る市民のつどい
11月29日	(木)	12月議会議案質疑
12月1日	(土)	防災土養成講座(2日まで)、新大塚町平成会12月例会
12月3日	(月)	12月議会常任委員会(文教経済、厚生)、県政市政報告会in豊田校区
12月4日	(火)	12月議会常任委員会(総務消防、施設)
12月6日	(木)	12月議会委員長報告、質疑、討論、採決
12月8日	(土)	耶馬溪町馬溪橋の改修に向けた地元協議
12月9日	(日)	第3回新大塚町自治会役員会
12月11日	(火)	12月議会一般質問(13日まで)
12月14日	(金)	中津市暴力絶滅推進協議会冬季広報活動
12月15日	(土)	フューチャー談義(龍馬さんと共に語る朝カフェタイム)
12月17日	(月)	12月議会自由討論
12月18日	(火)	第2回地域サロン設立の準備会
12月20日	(木)	12月議会最終日、第6回議員定数調査研究プロジェクト会議
12月23日	(日)	地元の八社神社に門松を奉納
12月25日	(火)	中津地区平和運動センター定期大会、道の駅の意見交換
12月26日	(水)	中津市自治研究センター事務局会議
12月28日	(金)	国土交通省山国川河川事務所中津出張所との協議(馬溪橋)



福澤語録を巡るオリエンテーリング



県政市政報告会 in 山国



会派視察(気仙沼市復興協会)



楽市まつり(水戸黄門の劇に出演)



地元の八社神社に門松を奉納

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/> 又は大塚正俊オフィシャルサイトで検索して下さい。